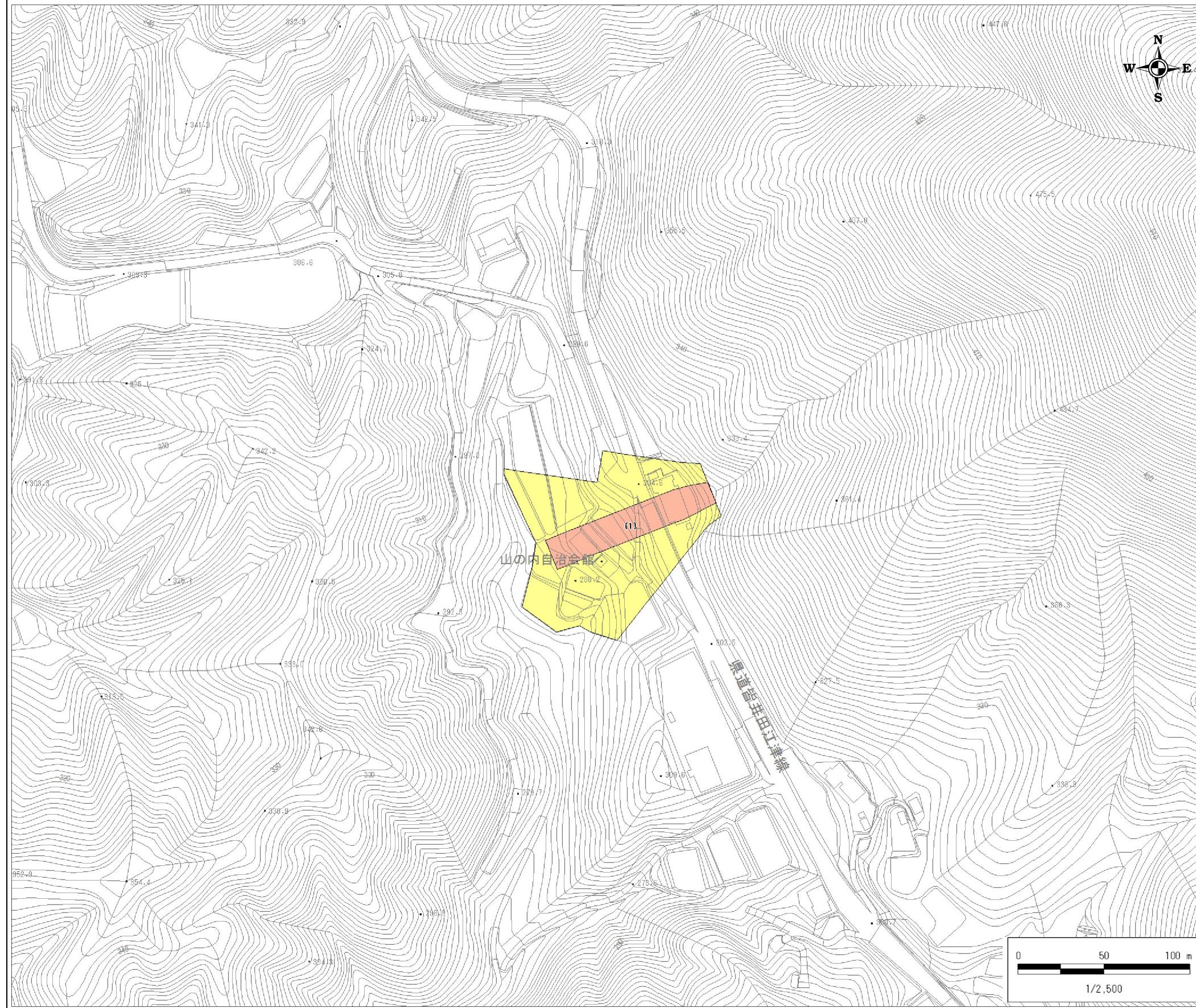


## 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域 区域図

縮尺: 1/2,500



自然現象の種類	土石流
基礎調査番号	132446A660411113
箇所名	日貫川支渓
所在地	邑智郡邑南町日貫

位置図\* 縮尺: 1/50,000



\*この地図は、国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用したものである。

### 区域図凡例

土砂災害警戒区域
土砂災害特別警戒区域 ((数字)は区分番号)
土石流の高さが1mを超える区域
建築物に作用すると予想される力が 50kN/m <sup>2</sup> を超える区域
建築物に作用すると予想される力が 50kN/m <sup>2</sup> 以下の区域
それ以外の区域
道路区域は除く

### 土石等の力の大きさの表示

区分番号	(A)	(B)	区分番号	(A)	(B)
( 1 )	29.2	0.4			

力の区分表記の説明  
(A) 土石流により建築物に作用すると想定される力のうち最大のもの (kN/m<sup>2</sup>)  
(B) (A)が当該建築物に作用する場合の土石流の高さ (m)

### 告示履歴

告示年月日	
告示番号	
告示年月日	
告示番号	

\*「土石等の力の大きさの表示」欄で表示される数値は、実数値（計算値）を小数第二位で四捨五入したものです。  
そのため、凡例で区分している数値の境界値付近では、凡例の説明と表示数値が一致しない場合があります。

例1) 土石流の高さの計算値が 1.01m の場合、四捨五入により 1.0m と表示されますが、実際は1mを超えていたため、「土石流の高さが1mを超える区域」に該当します。  
例2) 「土石流の高さが1mを超える区域」のうち、建築物に作用すると予想される力の 計算値が 50.01 kN/m<sup>2</sup>の場合、四捨五入により 50.0 と表示されますが、  
実際は50kN/m<sup>2</sup>を超えていたため、「建築物に作用すると予想される力が50kN/m<sup>2</sup>を超える区域」に該当します。